株式会社ニッカトー

2027年3月期(第1Q) 決算説明資料

証券コード:5367

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION.All Rights Reserved

目次

1 事業概要

2 中期経営計画

3 2027年3月期(第1Q)
決算概況

4 2027年3月期　業績予想

5 トピックス

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

1 事業概要

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

事業概要

セラミックスおよび計測機器・加熱装置の製造・販売を主な事業としており、品種別の主要な製品・商品は次のとおりです。

※2026年6月末時点

セラミックス事業

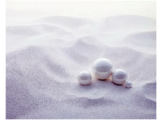
機能性セラミックス

セラミックス発熱体、酸素センサ、燃料電池用部材、セラミックスフィルター

売上構成比 4.2%

耐摩耗セラミックス

粉砕用ボールおよび粉砕機用部材、各種摺動部材、ベアリングボール



売上構成比 51.8%

耐熱セラミックス

各種熱処理用チューブ・ローラー・保護管・絶縁管、熱処理用容器・部材

売上構成比 20.8%

理化学用陶磁器・その他

分析、研究用化学磁器、特殊耐火るつぼ、耐火断熱セメント

売上構成比 1.5%

エンジニアリング事業

加熱装置

各種熱処理装置

売上構成比 2.6%

計測機器・その他

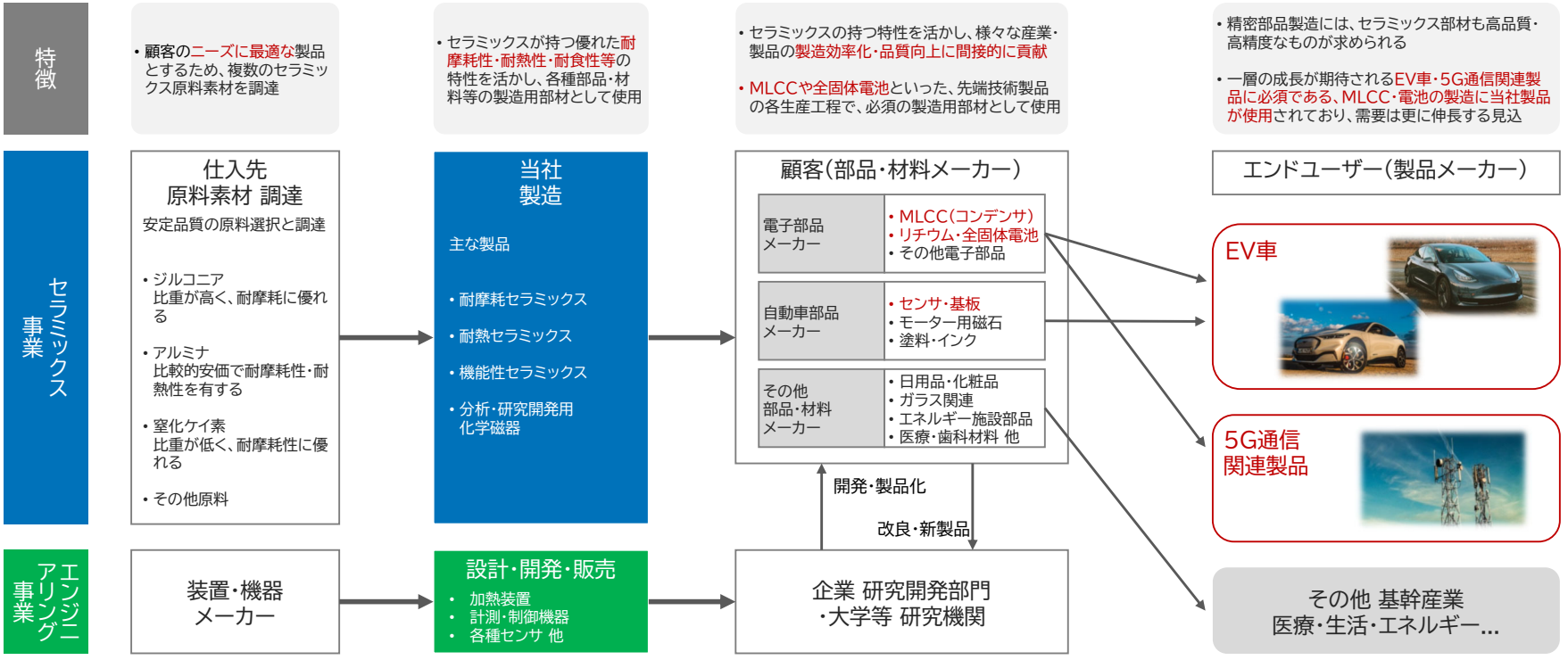
温度センサ、温度計測、制御機器・システム、応力測定機器、各種計測機器

売上構成比 19.1%

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

当社のビジネスモデル

- 最先端技術から基幹産業まで、部品・材料メーカーの生産工程・研究開発を、当社のセラミックス製品が製造用部材として使用されています。
- 当社主力製品の粉砕用ボールは、EV車や5G関連部品に使われるMLCC（積層セラミックコンデンサ）製造において、デファクトスタンダード（業界標準品）として位置づけられ、主要国内メーカーのトップシェアを占めています。



Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

2 中期経営計画について

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

企業理念・ビジョン・スローガン

企業理念

セラミックスと計測システムを通じて社会に貢献しよう

ニッカトーは創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて科学技術と産業の発展に寄与し、
企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献する

経営ビジョン 目指す姿

“Reliable Company”
時代に必要とされる企業

CONNECT30 スローガン

“まずやってみる、未来のために。”

時代が変化していく中で、必要とされる企業だけが成長するように
従業員ひとりひとりが成長し、誇りを持って働ける会社にしよう

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

「CONNECT30」3つの重点戦略

「CONNECT30」3つの重点戦略

製品戦略の見直し ＋ **戦略投資の拡大** ＋ **サスティナブル経営の加速**

稼ぎ続ける力

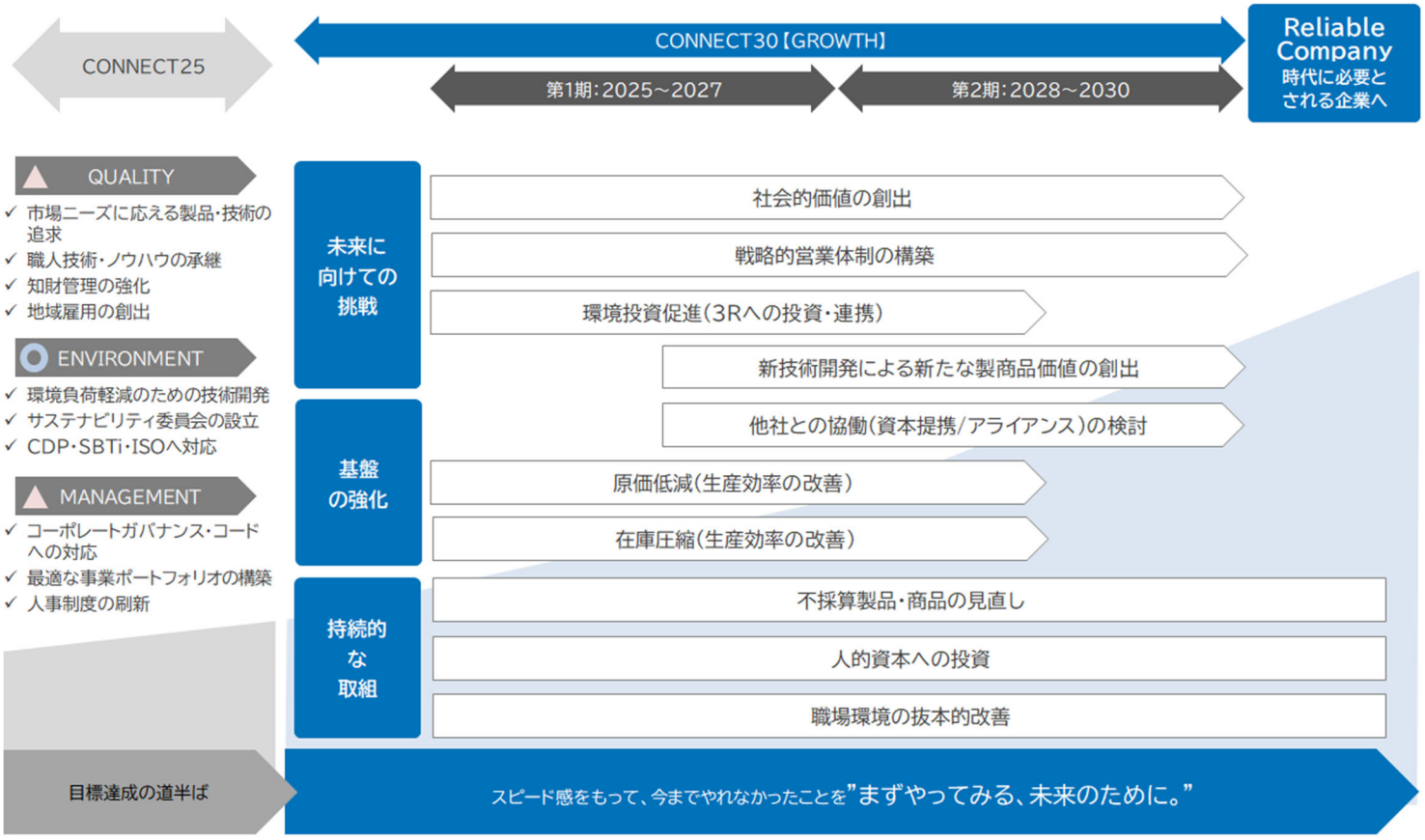
新たな投資

持続的な成長

培い積み上げてきたニッカトーの強みを発揮し、
未来のためにチャレンジし続けることで、持続的な成長につなげる

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

「CONNECT30」3つの重点戦略

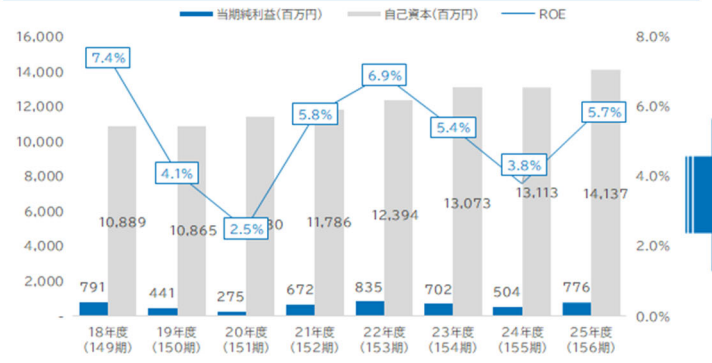


Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

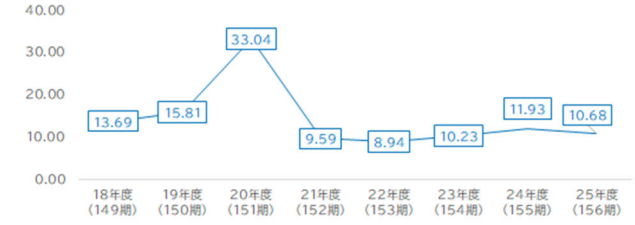
資本効率の向上に向けて

- 当社PBRは2026年3月末時点0.59倍前後と低位で推移しており、構成要素となるROE及びPERの両軸の改善に取り組む必要があります。
- 中期経営計画「CONNECT30」の達成により、収益性および資本効率の改善によるROEの目標達成、及び、安定的な配当継続に加え積極的な情報発信によるPERの目標達成により、PBRの向上を図ります。

ROE 自己資本利益率



PER 株価収益率



中期経営計画「CONNECT30」の達成

収益性の改善
- 不採算製品・商品の見直し
- 生産効率向上
- 戦略的営業体制の構築
- 新技術開発による新たな製商品価値の創出
- 他社との資本提携/アライアンスの検討

資本効率の改善
- 環境投資促進(3R)
- 政策保有株式の縮減・見直し
- 人的資本への投資

成長戦略の積極的な発信
- 適時適切な情報開示
- 双方向コミュニケーション強化

株主還元の拡充
- 安定的な株主還元の追求
- 配当性向の維持・向上

ROE
自己資本利益率
目標 8%以上
(2030年度目標:10%)

PER
株価収益率
目標 13~15倍

PBR
資本効率
配当性向
の向上

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

3 2027年3月期(第1Q)決算概況

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

決算ハイライト

セラミックス事業における電子部品業界の市況が上昇基調傾向にあり、エンジニアリング事業は自動車・重機関連等を中心に設備投資が好調に推移。売上高は、前年同期比30.2%増の31.8億円。

営業利益については、前年比136.4%増の4.4億円となる。

2027年3月期第1Q 決算ハイライト

売上高	営業利益	経常利益
31.8億円	4.4億円	4.8億円
前年同期比 +30.2%(+7.4億円)	前年同期比 +136.4%(+2.5億円)	前年同期比 +120.6%(+2.6億円)

当期純利益	研究開発費	人材投資
3.3億円	0.8億円	0.05億円
前年同期比 +171.2%(+2.1億円)	前年同期比 +12.2%(+0.08億円)	前年同期比 +53.8%(+0.02億円)

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

P/L概要

セラミックス事業における電子部品業界の市況が上昇基調傾向にあり、エンジニアリング事業は自動車・重機関連等を中心に設備投資が好調に推移。
売上高は、前年同期比30.2%増の113.4億円で着地。

その結果、営業利益はセラミックス事業、エンジニアリング事業共に伸長し、**前年比136.4%増**と大きく成長。

(単位:千円)	2026年3月期 第1Q		2027年3月期 第1Q		対前年		通期業績予想	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予想	達成率
売上高	2,438,659		3,175,130		736,471	30.2%	11,000,000	28.9%
売上原価	1,892,604	77.6%	2,316,256	72.9%	423,651	22.4%	8,340,000	27.8%
販売費及び一般管理費	359,270	14.7%	417,397	13.1%	58,126	16.2%	1,560,000	26.8%
営業利益	186,783	7.7%	441,477	13.9%	254,693	136.4%	1,100,000	40.1%
経常利益	216,837	8.9%	478,266	15.1%	261,429	120.6%	1,150,000	41.6%
当期純利益	121,959	5.0%	330,795	10.4%	208.836	171.2%	800,000	41.3%
研究開発費	69,314	2.8%	77,771	2.4%	8,457	12.2%	-	-
EPS(円)	10.21	-	27.67	-	17.46	-	-	-
ROA(%)	2.8	-	7.0	-	4.2pt	-	-	-
ROE(%)	3.7	-	9.2	-	5.3pt	-	-	-

増収増益

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

事業セグメント別業績

- セラミックス事業は、受注増により工場稼働率が改善し、売上原価率が低減したことで、セグメント利益が前年比136.2%増の391,409千円で着地。
- エンジニアリング事業は、自動車・重機関連等を中心に設備投資が好調に推移し、計測機器の利益率改善効果が大きく、セグメント利益が前年比137.3%増の50,068千円で着地。

(単位:千円)	2026年3月期 第1Q	2027年3月期 第1Q	前年同期比
セラミックス事業			
セグメント売上高	1,907,574	2,484,668	30.3%
－機能性セラミックス	134,259	133,549	-0.5%
－耐摩耗セラミックス	1,288,982	1,641,983	27.4%
－耐熱セラミックス	438,256	660,012	50.6%
－理化学用陶磁器他	46,074	49,123	6.6%
セグメント営業利益	165,681	391,409	136.2%
セグメント利益率	8.7%	15.8%	7.1pt
エンジニアリング事業			
セグメント売上高	531,084	690,462	30.0%
－加熱装置	75,802	82,167	8.4%
－計測機器・その他	455,282	608,295	33.6%
セグメント営業利益	21,102	50,068	137.3%
セグメント利益率	4.0%	7.3%	3.3pt

セラミックス事業

増収増益

エンジニアリング事業

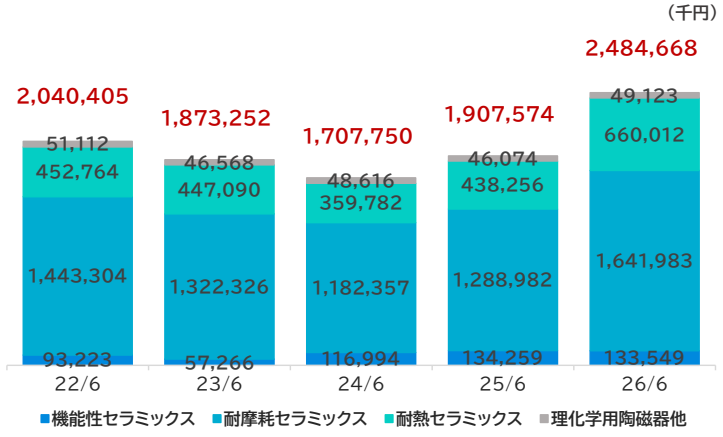
増収増益

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

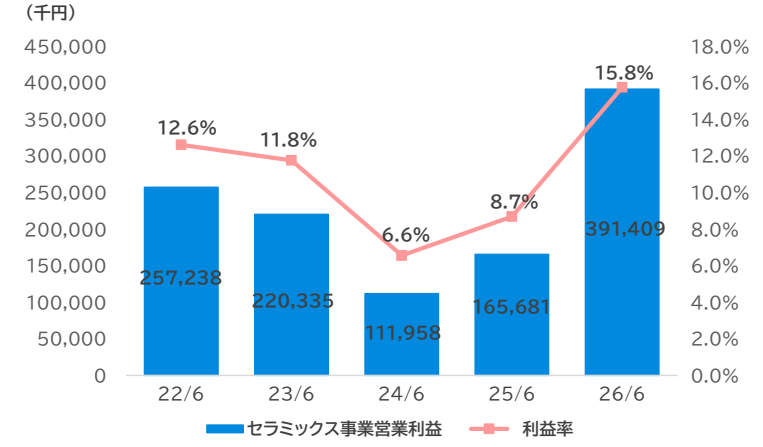
セラミックス事業の実績

- 主力の電子部品業界の市況回復に伴い、受注増による工場稼働率も改善。
- 不採算製品の見直しに着手。

品種別売上高の推移



営業利益の推移



●主なマーケット（2026年3月期）

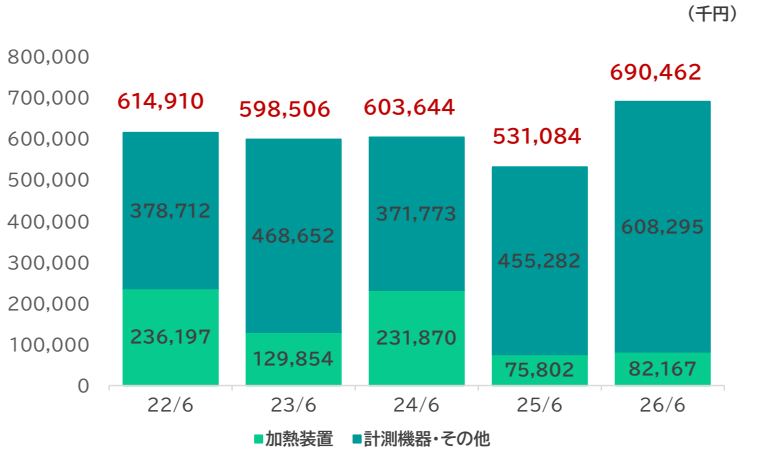
一般電子部品	化学	環境・エネルギー	バイオ	自動車・重機	その他
構成比 55.4%	構成比 9.5%	構成比 3.6%	構成比 3.5%	構成比 2.8%	構成比 25.2%

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

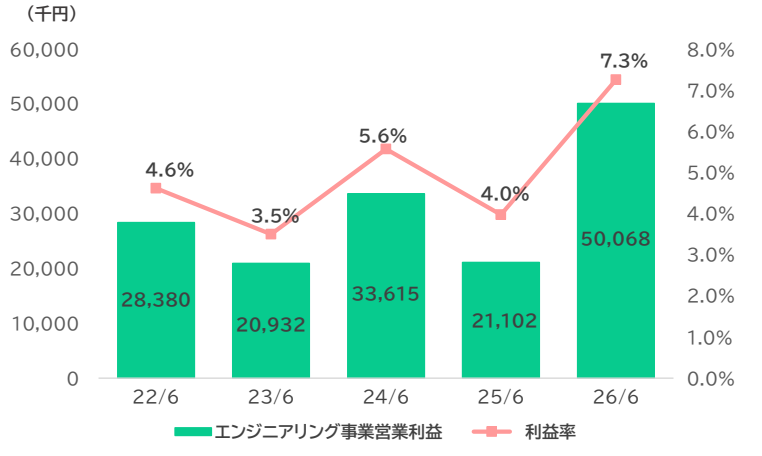
エンジニアリング事業の実績

- 自動車・重機関連等を中心に設備投資が好調に推移した結果、売上高が伸長。
- 粗利益率は高水準を維持。計測機器・加熱装置の売上伸長により粗利金額も高水準を目指す。

品種別売上高の推移



営業利益の推移



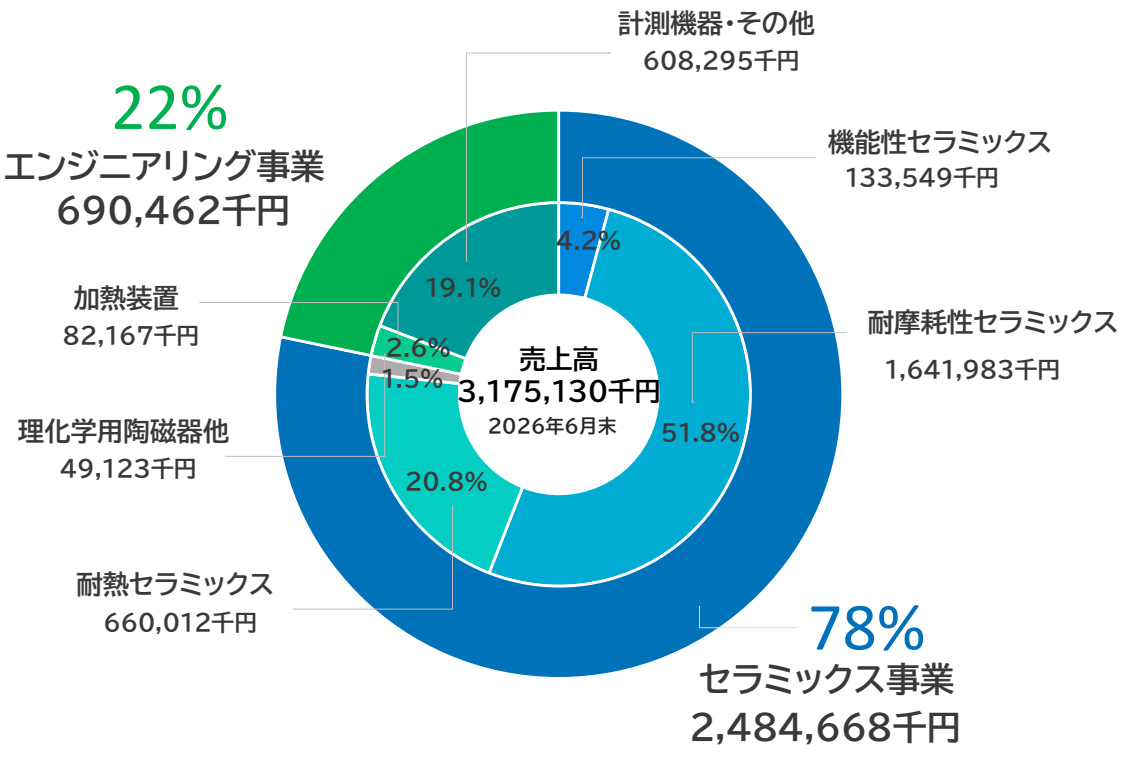
●主なマーケット（2026年3月期）

自動車・重機	一般電子部品	半導体	環境・エネルギー	鉄鋼	その他
構成比 38.4%	構成比 21.0%	構成比 12.5%	構成比 11.8%	構成比 7.9%	構成比 8.4%

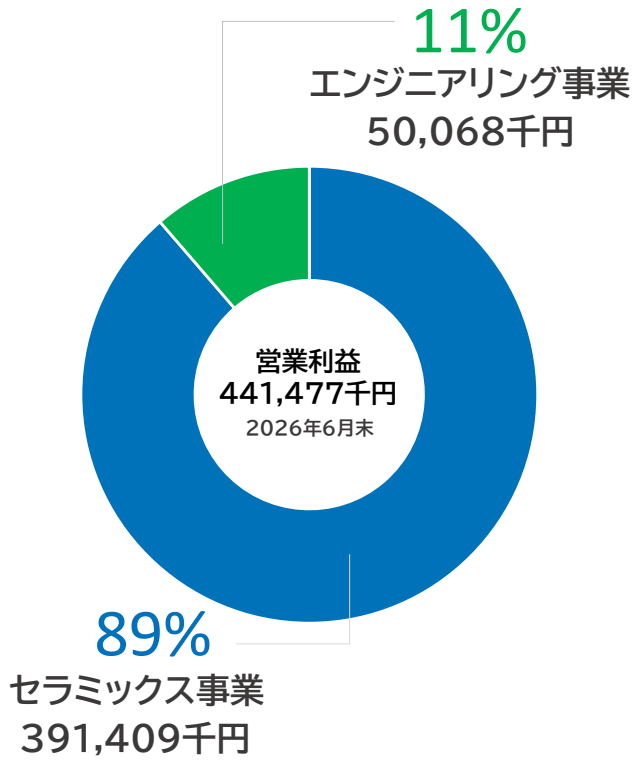
Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

セグメント別売上高・営業利益構成比

セグメント別売上高構成比

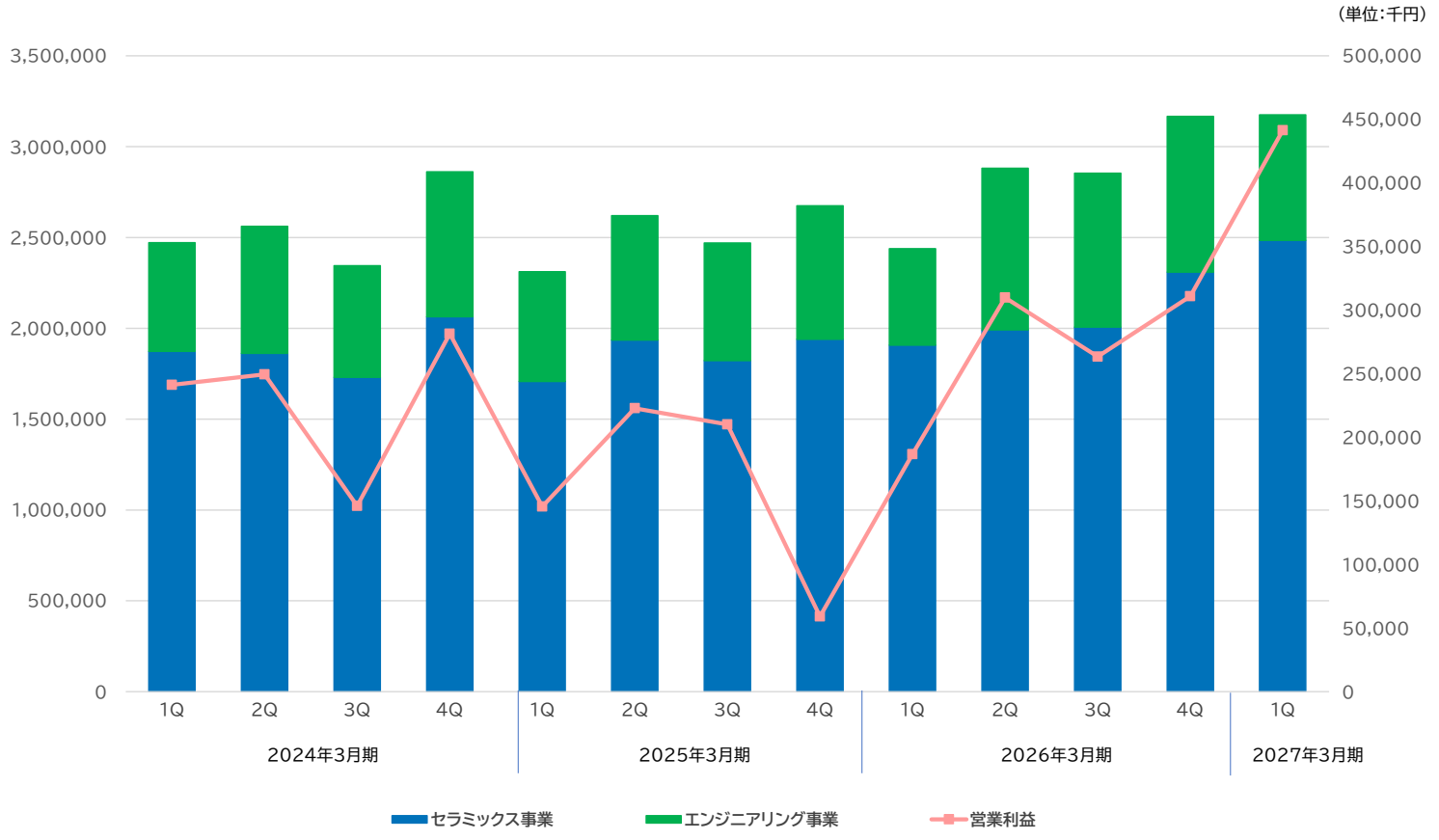


セグメント別営業利益構成比



Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

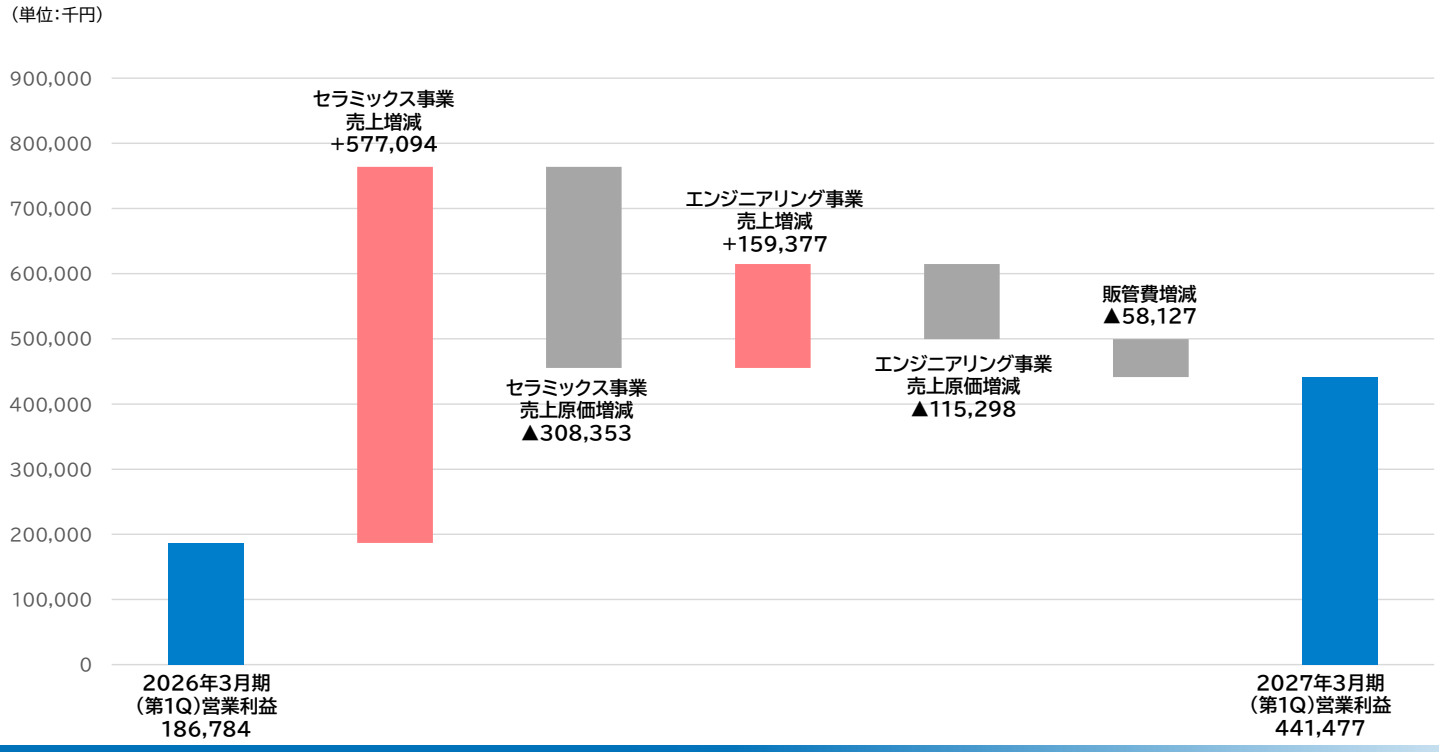
四半期売上高・営業利益推移



Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

営業利益増減要因

- セラミックス事業における主力の電子部品業界の市況が上昇基調傾向に伴い、受注増による工場稼働率も改善。
  エンジニアリング事業は半導体・電子部品向けを中心に計測機器類が好調に推移。全社的には前年同期比136.4 %増益の441, 478千円となる。



Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

B/S概要

（単位：千円）	26/3末	26/6末	増減率
流動資産	**10,998,740**	**10,925,884**	**△ 0.7%**
現金預金	4,137,970	4,034,948	△ 2.5%
売掛債権	3,952,865	3,938,606	△ 0.4%
棚卸資産	2,877,223	2,933,024	1.9%
その他	30,682	19,305	△ 37.1%
固定資産	**7,854,491**	**8,229,417**	**4.8%**
有形固定資産	4,799,951	4,754,112	△ 1.0%
無形固定資産	77,768	69,258	△ 10.9%
投資その他	2,976,771	3,406,045	14.4%
資産合計	**18,853,231**	**19,155,302**	**1.6%**

	26/3末	26/6末	増減率
流動負債	**4,115,384**	**3,692,327**	**△ 10.3%**
買掛債務	2,266,384	1,972,189	△ 13.0%
短期借入金	506,452	452,854	△ 10.6%
その他	1,342,548	1,267,284	△ 5.6%
固定負債	**600,896**	**798,087**	**32.8%**
繰延税金負債	392,821	589,118	50.0%
その他	208,074	208,968	0.4%
純資産	**14,136,950**	**14,664,886**	**3.7%**
株主資本	13,004,555	13,202,233	1.5%
評価・差額等	1,132,395	1,462,652	29.2%
負債・純資産合計	**18,853,231**	**19,155,302**	**1.6%**

・流動資産
　棚卸資産　受注増加に伴う在庫増により増加

・固定資産
　有形固定資産　減価償却により減少
　無形固定資産　減価償却により減少
　投資その他　投資有価証券の評価増により増加

・流動負債
　買掛債務　仕入債務の支払いにより減少

・純資産
　評価・差額等　投資有価証券評価増により増加

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

C/F概要

(単位:千円)	25/3末	26/3末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	**1,676,675**	**1,675,324**	**△ 1,351**
税引前当期純利益	717,534	1,110,852	393,318
減価償却費	655,778	680,907	25,128
棚卸資産の増減額	△ 55,169	93,019	148,189
その他	358,532	△ 209,455	△ 567,988
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 925,637**	**△ 710,293**	**215,344**
有形固定資産の取得	△ 895,760	△ 527,840	367,920
その他	△ 29,877	△ 182,453	△ 152,575
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 493,090**	**△ 469,612**	**23,478**
配当金の支払額	△ 277,584	△ 254,403	23,180
その他	△ 215,506	△ 215,208	297
現金等の増減額	**257,947**	**495,418**	**237,471**
現金等の期末残高	**3,642,551**	**4,137,970**	**495,418**

※キャッシュフロー計算書は、2026年3月期(第4Q)のデータを使用しています。

・営業CF
その他
増収による売上債権の増加に伴い減少
法人税等支払額の増加に伴う減少

・投資CF
その他
政策保有株式の見直しによる減少

・財務CF
配当金の支払額
配当金21円

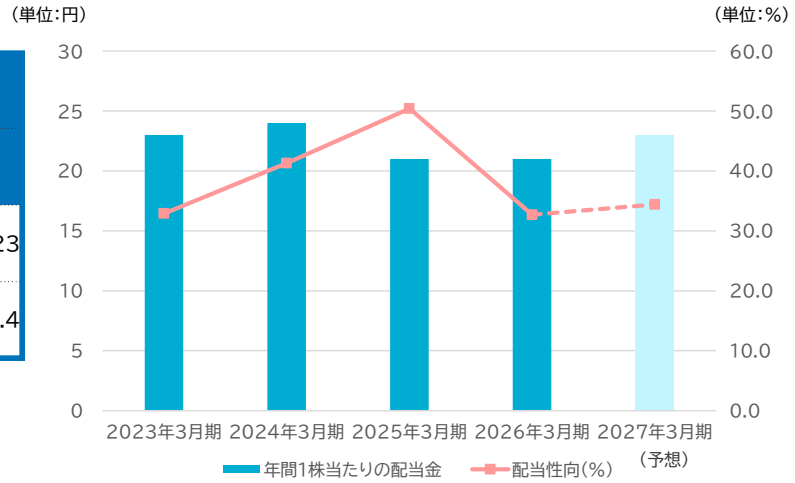
Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

株主還元(配当金)

当社は、経営資源の効率的な運用で企業基盤と財務体質の強化を図り、株主のみなさまへの中期的な安定した配当の維持に努め、適正な利益還元を行うことを基本としております。
利益配当につきましては、上記観点から配当性向は30～50%を目安として配当金を決定し、株主のみなさまのご期待に沿うように努めてまいります。

配当金の推移

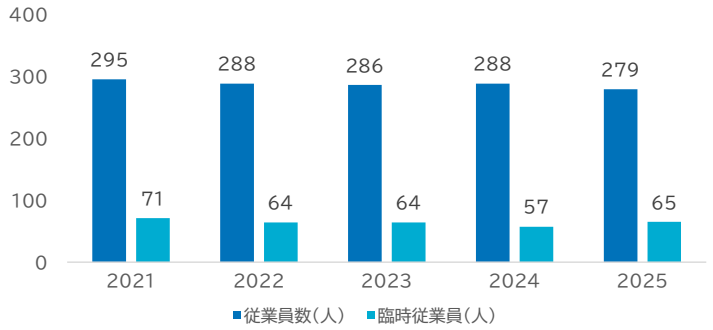
	実績				予想
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
年間1株当たりの配当金	23	24	21	21	23
配当性向(%)	32.9	41.3	50.4	32.4	34.4



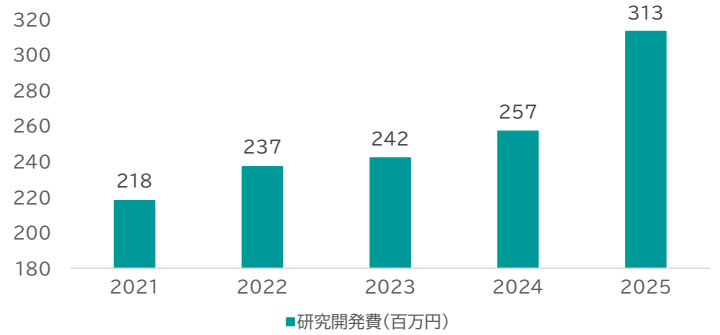
Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

その他企業データ

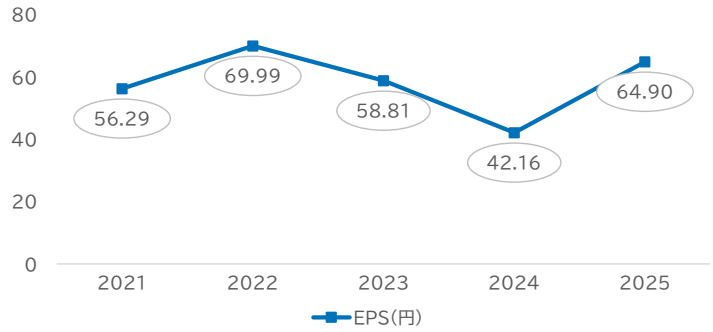
従業員数の推移



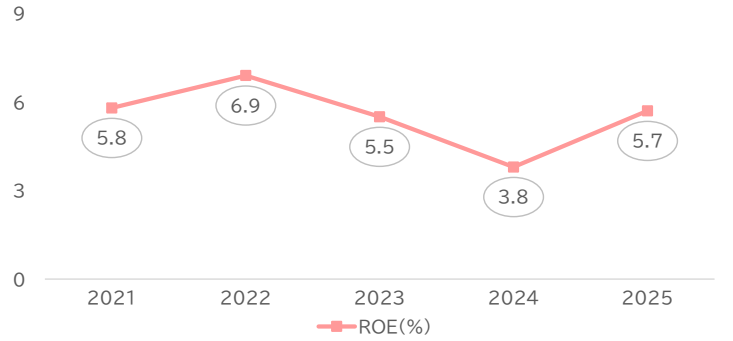
研究開発費の推移



EPSの推移



ROEの推移



Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

4 2027年3月期業績予想

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

2027年3月期　業績予想

「CONNECT30」の達成を見据えて、持続的な成長の基盤の強化を最優先とし、取り組むべきことを決め、「まずやってみる」ことで、変化していくことが重要。売上高11,000百万円、営業利益1,100百万円を予想。

（単位：千円）	2027年3月期　第1Q（予測）		2027年3月期　第1Q（実績）		対予測比	2027年3月期（予想）	
	金額	売上比	金額	売上比	達成率	金額	売上比
売上高	2,750,000		3,175,130		115.5%	11,000,000	
売上原価	2,048,000	74.4%	2,316,256	72.9%	113.1%	8,340,000	75.8%
販売費及び一般管理費	402,000	14.6%	417,397	13.1%	103.8%	1,560,000	14.2%
営業利益	300,000	10.9%	441,477	13.9%	147.2%	1,100,000	10.0%
経常利益	315,000	11.5%	478,226	15.1%	151.8%	1,150,000	10.5%
当期純利益	220,000	8.0%	330,795	10.4%	150.4%	800,000	7.3%

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

5 トピックス

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

外部専門家を招いたBCP机上訓練の実施

当社では、大規模災害等の緊急事態における事業継続体制の強化を進めております。
当期におきましては、外部の専門家講師を招き、関係部署部門長による「BCP机上訓練」を実施いたしました。意思決定や初動対応のプロセスの検証を行い、計画の実効性向上と防災意識のさらなる浸透を図っております。

研修当日の様子

Copyrighting © NIKKATO CORPORATION. All Rights Reserved

株式会社ニッカトー

https://www.nikkato.co.jp/

上記URLから、当社ホームページをご覧いただけます。

ご留意事項

本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

Copyrighting © NIKKATO Corporation. All Rights Reserved